

第 9 回 夢・未来熊谷ジュニア議会 会議録



平成 26 年 11 月 14 日開催

熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷市議会



目 次

1. 第9回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要	1
2. 議事日程	3
3. 出席議員(32名)	4
4. 一般質問	5
質問番号1 市長公室関係	5
➤ 議席番号8 熊谷東中学校 池内 日向子 議員	
➤ 議席番号27 妻沼東中学校 中原 大樹 議員	
質問番号2 総合政策部関係	8
➤ 議席番号3 富士見中学校 大澤 孔 議員	
➤ 議席番号16 吉岡中学校 定方 優芽 議員	
➤ 議席番号20 三尻中学校 倉田 こゆき 議員	
➤ 議席番号21 奈良中学校 小杉 健太 議員	
質問番号3 総合政策部関係	13
➤ 議席番号5 大原中学校 高橋 佑弥 議員	
➤ 議席番号6 大原中学校 安部 希望 議員	
➤ 議席番号12 大麻生中学校 高橋 花織 議員	
➤ 議席番号15 吉岡中学校 成田 州都 議員	
質問番号4 総務部関係	18
➤ 議席番号2 荒川中学校 大原 理世 議員	
質問番号5 市民部関係	20
➤ 議席番号10 玉井中学校 秋山 比奈珠 議員	
➤ 議席番号26 大里中学校 小池 里奈 議員	
➤ 議席番号28 妻沼東中学校 前原 南名 議員	
質問番号6 市民部関係	24
➤ 議席番号18 別府中学校 福島 愛奈 議員	
➤ 議席番号32 江南中学校 恒吉 夏実 議員	
質問番号7 福祉部関係	27
➤ 議席番号7 熊谷東中学校 梅澤 恒喜 議員	
➤ 議席番号30 妻沼西中学校 大塚 彩奈 議員	

質問番号 8 環境部関係.....	30
➤ 議席番号 9 玉井中学校 泉田 瞭 議員	
➤ 議席番号 17 別府中学校 片桐 真人 議員	
➤ 議席番号 19 三尻中学校 松村 峻充 議員	
➤ 議席番号 25 大里中学校 堅田 龍太郎 議員	
質問番号 9 産業振興部関係.....	35
➤ 議席番号 1 荒川中学校 谷田 和基 議員	
質問番号 10 都市整備部関係.....	37
➤ 議席番号 4 富士見中学校 阿南 美穂 議員	
➤ 議席番号 23 大幡中学校 四分一 翔太 議員	
質問番号 11 建設部関係.....	40
➤ 議席番号 22 奈良中学校 小宮 恵奈 議員	
➤ 議席番号 24 大幡中学校 村上 安里彩 議員	
➤ 議席番号 31 江南中学校 飯田 龍 議員	
質問番号 12 教育委員会関係.....	44
➤ 議席番号 11 大麻生中学校 長谷部 俊 議員	
➤ 議席番号 13 中条中学校 竹本 幹太 議員	
➤ 議席番号 14 中条中学校 吉野 颯希 議員	
➤ 議席番号 29 妻沼西中学校 大岡 遥人 議員	
5. ジュニア議員の感想 ～ジュニア議会を終えて～.....	49
6. 参考資料(ジュニア議員座席表).....	51
7. 参考資料(答弁のための出席者).....	52

1、第9回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要

夢・未来熊谷ジュニア議会は、平成18年10月に「熊谷市子ども議会」としてスタートし、今年度で第9回を迎えました。第6回からは「夢・未来熊谷ジュニア議会」と名称を変更し、本議会に先立ち、2回のワークショップを開始しました。今回もワークショップを行い、市政に関する事前学習とジュニア議員同士の交流を深めました。

第1回ワークショップ(平成26年7月31日〔木〕)

最初に、オリエンテーションとして、自己紹介と学校紹介を行いました。

教育総務課職員による「よくわかる小・中学校の施設と予算」の講義を受講し、その後、グループに分かれて、事前に考えて持ち寄った市への質問を各々発表しました。各班活発な意見交換が行われました。

第2回ワークショップ(平成26年8月20日〔水〕)

事前学習では、第1回ワークショップで議員さんの関心が高かった「交通バリアフリー」に関する講義を受講しました。その後、受講内容についてグループディスカッションを行い、感想と市への提案を発表しました。

ワークショップ後、議場を見学し、質問方法と動きなどを練習しました。



第9回夢・未来熊谷ジュニア議会(平成26年11月14日〔金〕)

熊谷市議会本会議場で開催しました。

森 新一 熊谷市議会議長が臨時議長をつとめ、議長に荒川中学校の谷田 和基議員が、副議長に大麻生中学校の高橋 花織議員が指名されました。

市内 16 中学校の 2 年生 32 人のジュニア議員が一般質問形式で一人一問の質問を行い、それに対し、市長をはじめ市の執行部が答弁を行いました。

当日は保護者、学校関係者、熊谷市議会議員など多くの方に傍聴していただきました。

2、議事日程

(平成26年11月14日〔金〕13時30分開会)

- 1 市議会議長あいさつ
- 2 開会 臨時議長(熊谷市議会議長)

- 3 市長あいさつ

- 4 議長の選挙(指名推選)

- 5 副議長の選挙(指名推選)

- 6 一般質問

(途中議長が副議長と交代)

- 7 閉会 副議長

- 8 講評 熊谷市議会議長
熊谷市長

3、出席議員(32名)

議席番号	学校名	氏 名
1	荒川中学校	谷田 和基
2		大原 理世
3	富士見中学校	大澤 孔
4		阿南 美穂
5	大原中学校	高橋 佑弥
6		安部 希望
7	熊谷東中学校	梅澤 恒喜
8		池内 日向子
9	玉井中学校	泉田 瞭
10		秋山 比奈珠
11	大麻生中学校	長谷部 俊
12		高橋 花織
13	中条中学校	竹本 幹太
14		吉野 颯希
15	吉岡中学校	成田 州都
16		定方 優芽
17	別府中学校	片桐 真人
18		福島 愛奈
19	三尻中学校	松村 峻充
20		倉田 こゆき
21	奈良中学校	小杉 健太
22		小宮 恵奈
23	大幡中学校	四分一 翔太
24		村上 安里彩
25	大里中学校	堅田 龍太郎
26		小池 里奈
27	妻沼東中学校	中原 大樹
28		前原 南名
29	妻沼西中学校	大岡 遥人
30		大塚 彩奈
31	江南中学校	飯田 龍
32		恒吉 夏実

4、一般質問

質問番号1 市長公室関係

議席番号8 熊谷東中学校 ^{いけうち}池内 ^{ひなこ}日向子 議員

自然災害の対策について

今年2月に、例年にない大雪に見舞われました。その際に国道など大きな通りは除雪作業が行われていたようですが、家の周りはもちろん、通学路の雪かきなど作業がとても大変でした。

そこで、異常気象や、いつ起こるのかわからない地震などに備え、熊谷市としてどのような対策をしているのか教えて下さい。

議席番号27 妻沼東中学校 ^{なかはら}中原 ^{だいき}大樹 議員

ハザードマップについて

今、大雨や大雪、竜巻などの想像しないような災害が増えています。少子高齢化が進む中、お年寄りの避難や対応の速さが求められています。最新のハザードマップを作成すれば被災箇所へ素早く対応ができ、お年寄りの不安も取り除けると思います。

そこで、ハザードマップはどのくらいの期間で作成をしていますか。また、作成に当たりどのような工夫をしていますか。

答弁

(市長)

池内 日向子議員さん、中原 大樹議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

お二人からの質問にあったとおり、近年、これまでほとんど想定しなかったような災害が多く発生しています。



熊谷市でも、昨年9月の竜巻、さらに、今年2月の大雪により大きな被害を受けましたが、このような災害の経験や反省を生かし、災害全般への対応の基本を定める地域防災計画や、それに基づく対応マニュアルを現在、見直しています。

次に、ハザードマップにつきましては、国や県が発表する災害の指定区域や被害想定に基づき、市内の危険箇所等を分かりやすくお伝えするもので、洪水編と地震編の2種類を皆さんの全ご家庭に配

布したほか、土砂災害編を対象となるご家庭に配布しました。

今後は、更にわかりやすく、活用しやすいものに作り替えていきます。また、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、地域での防災組織の結成や防災訓練の実施を後押しする取組みなどを通じて、みなさん自身やご家族、さらにご近所のコミュニティが力を合わせて地域の防災力を高めていただく施策も進めていきたいと考えています。

議席番号 8 熊谷東中学校 池内 日向子 議員

自然災害の対策について(危機管理監)

池内 日向子議員さんの「自然災害の対策について」にお答えします。

熊谷市は、これまで「災害の少ないまち」と言われてきましたが、昨年9月には竜巻、さらに、今年2月には、観測史上例を見ないほどの大雪に見舞われました。この大雪のときには、道路の除雪が速やかに進められず、市民の皆さんに多くのご不便をおかけしました。この反省を踏まえて、除雪に必要な工事車両を扱える、より多くの業者さんと除雪についての契約を結んだり、どこの道路を優先して除雪をしたら効果的で、より早く皆さんに通行してもらえるようにできるかということを話し合ったりしています。

また、いざという災害のときには、市民の皆さん一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という防災意識をもって行動してもらえるように、地域の防災組織の集まりなどに出向いて、地震対策や洪水対策についての講演やゲーム形式の訓練など行うとともに、地域防災力の強化のため、自主防災組織の結成を促進しています。10月1日現在、240の自主防災組織が活動しており、結成率は67.7パーセントとなっています。

また、3年前の東日本大震災でクローズアップされた、女性や高齢者・障がい者等の視点に立った防災対策などの課題や、今まであまり想定していなかった、竜巻をはじめとする災害の特徴、万一それが起きたときの対処の仕方などを地域防災計画に盛り込むとともに、個別の対応マニュアル等の作成に、現在、取り組んでいます。

議席番号 27 妻沼東中学校 中原 大樹 議員

ハザードマップについて (危機管理監)

中原 大樹議員さんの「ハザードマップについて」にお答えします。

熊谷市のハザードマップは、先ほど市長がお答えしたとおり、平成20年に洪水編、21年に地震編、そして、23年に土砂災害編の3種類を作成していますが、それぞれの災害について、国や埼玉県が被害の想定を見直したときに、それに基づいて改訂を行っています。

このうち、地震編については、昨年12月に、埼玉県から新たな被害想定が発表されたことから、現在、地震ハザードマップの改訂に向け作業を進めています。

また、洪水編、土砂災害編についても、今後の改訂の際には、避難情報、避難時の心得、危険箇所、避難所などについて、イラストや色分けを多く用い、より分かりやすく、また、より素早く対応ができるよう、さらに表示を工夫していきたいと考えています。

質問番号2 総合政策部関係

議席番号3 富士見中学校 ^{おおさわ こう}大澤 孔 議員

今後の暑さ対策について

熊谷市は「あついぞ！熊谷」をキャッチフレーズに、暑い街としてだけでなく、暑さ対策でも日本一を目指していると聞きました。駅の階段の涼しそうな絵や冷却ミスト、クールシェアの取組み等は、僕たちの身近にあるものです。学校でも熱中症予防の授業を受けたり、暑い日には熊谷市の出す熱中症指標に従って部活動等を制限したりする対策を行っています。

熊谷市の暑さ対策はとても面白いアイデアがたくさんあってよいと思いますが、今後はどのような暑さ対策を考えておられますか。教えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

議席番号16 吉岡中学校 ^{さだかた ゆめ}定方 優芽 議員

“あついぞ！熊谷”のサービスについて

先日、買い物をしていたところ『39℃以上で〇〇〇プレゼント！！』というような張り紙のあるお店を見つけました。このように、“あついぞ！熊谷”ならではのサービスは他にもあるのでしょうか。教えてください。

議席番号20 三尻中学校 ^{くらた}倉田 こゆき 議員

熊谷市の暑さ対策 PR

熊谷市の暑さ対策の1つとして、小中学校ではグリーンカーテンやエアコンの設置などの対策を行っています。このような市の取り組みをもっと日本全国にPRすれば良いと思いますが、今まで行っていたことがあれば教えてください。もし行っていないければ、今後PRする計画があるのか教えてください。

議席番号21 奈良中学校 ^{こすぎ けんた} 小杉 健太 議員

熊谷市のホームページについて

先日、熊谷市のことをもっとよく知るために熊谷市のホームページを見ました。熊谷市のホームページ内のキッズページには様々なことが載っています。その中にある、「市議会の仕事」に関するページが、他のページに比べるとわかりにくいような気がしました。

他のページには熊谷市の歴史や税金の使い方がありますが、それらのページはわかりやすい言葉を使って書かれており、中学生の僕にもよくわかりました。しかし市議会の仕事に関するページには、他のところに比べて難しい言葉が多く、わかりにくいと感じました。熊谷市の一員として、もっと多くの人に市の働きを知ってもらうため、よりわかりやすいホームページになるといいと思いました。

そこで、わかりやすいホームページにするため工夫していることがあれば教えてください。

答弁

(市長)

大澤 孔議員さん、定方 優芽議員さん、倉田 こゆき議員さん、小杉 健太議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、大澤さんの「熊谷市の今後の暑さ対策について」です。熊谷市は夏の暑さで全国的に有名になりましたが、あつさはれば熊谷流プロジェクトや、暑さ対策プロジェクトチーム提案事業により、市民の皆さんを熱中症から守るため、様々な「暑さ対策」に取り組んでいます。

このような取組が評価され、熊谷市は環境省等で組織される「熱中症予防声かけプロジェクト」の主催する「ひと涼みアワード」においてももっとも高い評価を受け、今回で3年連続の受賞となりました。平成24年は7団体に贈られた「トップランナー賞」の1団体として、25年は行政の中では1番となる「行政トップランナー特別賞」、今年は官民合計423団体の中から「トップランナー賞」という日本一の賞を受賞しました。

来年度も、市民の皆さんを始め、熊谷に訪れた皆さんも熱中症から守る新たな事業を計画していますので、期待してください。

次に、定方さんの「“あついぞ！熊谷”のサービスについて」は、熊谷市の商店や様々なグループ・団体の皆さんが知恵を絞り、協力して、暑さを吹き飛ばすサービスを開発・PRして、熊谷市民全員で、夏を乗り切ろうというものです。「あついぞ！熊谷」の「あついぞ」は、熊谷市民の人情の厚さや、まちづくりへの情熱の熱さを表したのですが、今年は10年目となり、78もの事業が行われました。また、これとは別に、今年の

夏は「クールシェアくまがや実行委員会」が企画した「クールシェアマイスター」という取り組みも行われました。こちら66の登録されたお店にマイスターの本を持参すると割引などのサービスが受けられるもので、家庭での1人1台のエアコン利用をやめ、涼しい場所に集まることで、市内全体の節電対策や活性化を狙ったものです。

このように、熊谷市は行政だけでなく、大勢の市民の皆さんも様々な工夫で暑さ対策に取り組んで頂いています。皆さんも暑さ対策をしっかりと、あついぞ！事業で、交流を深めて盛り上がり、熊谷の夏を皆さんのパワーに変えていきましょう。

次に、倉田さんの「熊谷市の暑さ対策PRについて」ですが、熊谷市は「暑さ対策日本一」を目指して数々の暑さ対策事業を実施し、その効果や、事業内容をホームページへ掲載するなどPRしたことにより、暑い街としてだけでなく、暑さ対策先進都市として、テレビや新聞などで取り上げられるようになりました。

全国的に、熱中症対策などの暑さ対策が注目されていますので、これまでの暑さ対策はもちろんのこと、新たなアイデアを全国に発信して、暑さ対策日本一の熊谷市をPRしていきます。

次に、小杉さんの「熊谷市のホームページについて」ですが、ホームページは、伝えたい情報を即時に、そして広く発信できる有効なツールであると考えています。

熊谷市でも、いろいろな情報をできる限り多く伝えることで、市民の皆さんはもとより、市外の方にも広く「我が街・熊谷」に興味と愛着を持っていただけるよう努めています。そのための基本は、小杉さんが感じられたように、いかに「わかりやすい言葉」で表現できるかということであり、残念ながら一部にわかりづらいと思われた部分があったとすれば、もっともっと工夫が必要だと思えます。

これからも、より分かりやすいホームページにするために工夫を凝らし、熊谷市の新鮮な情報を掲載していきますので、引き続き熊谷のホームページをご利用いただき、その感想をお聞かせください。

議席番号3 富士見中学校 大澤 孔 議員

今後の暑さ対策について(副市長)

大澤 孔議員さんの「今後の暑さ対策について」お答えします。

熊谷市は、暑さから市民を守る健康対策やヒートアイランド対策を中心とした「あつさはればれ 熊谷流」という5本の柱からなるプロジェクトを掲げ、様々な暑さ対策に取り組んでいます。

平成22年度からは、市役所の若手職員を中心とした「暑さ対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、新たな「暑さ対策事業」を生み出してきました。

駅の階段へ涼しさを感じるアート作品を展示する「涼しさ体感アート事業」や、皆さんが今年度受講した、AEDの使用法を含む熱中症予防講習会を実施する「暑さに負けるな中学生事業」も、プロジェクトチームによる提案です。

これから行う事業としては、熊谷駅前通りの歩道に藤棚を設置し、木陰を創り出す「藤の parasol 事業」があり、また、来年度に実施する事業についても、現在検討しているところです。

これからも、「暑さ対策日本一」のまちとして、様々な新しい対策を実施したいと考えていますので、期待してください。

議席番号16 吉岡中学校 定方 優芽 議員

“あついぞ！熊谷”のサービスについて(総合政策部長)

定方 優芽議員さんの「“あついぞ！熊谷”のサービス」について、お答えします。

熊谷市では、平成17年度から「あついぞ！熊谷」のキャッチコピーのもと、様々な市民活動を応援してきました。

本日、「あついぞ！熊谷」と「クールシェア」のチラシを配布しましたが、ご覧のとおり、エントリーしている事業は、多種多様で、花火大会などの大きなイベントや、地域のお祭りなど地域に密着したイベント、オリジナルグッズの紹介などがあります。

その中で一際目を引くものが、割引などのサービスです。気温が高くなるほど、飲み物の価格が下がったり、ステーキの厚さが増す焼肉店や、38度を超えるとアイスクリームをプレゼントする洋菓子屋さんもあります。

また、「あついぞ！熊谷」や「クールシェア」のチラシを持参すると、冷やしシャンプーを割引する床屋さんや、料金の割引をするエステ店、衣料品店もあります。

熊谷の特徴である気温の暑さは、時にはマイナスイメージとなってしまっていますが、それらを逆手に取り、自由な発想で取り組む皆さんは素晴らしいと思っています。

市では、そんな前向きな皆さんを応援し、にぎやかで活気のあるまちにしていいため、「あついぞ！熊谷」のほか、商工会議所や市民団体と協働で進めている「クールシェア」の活動などを通して、市民の皆さんの様々な活動を応援したいと考えています。

定方さんも、チャンスがあればこのような活動に参加してみてください。

議席番号20 三尻中学校 倉田 こゆき 議員

熊谷市の暑さ対策PR(総合政策部長)

倉田 こゆき議員さんの「熊谷市の暑さ対策PR」にお答えします。

熊谷市の「暑さ対策」は、市報や、ホームページのほか、動画サイト「Youtube」で見られる「暑さ対策CM」によりPRしているほか、暑さ対策の先進市として、テレビや新聞などのマスコミでも、今年も100回以上、取り上げられました。

また、各事業の実施により、皆さんをはじめとする市民の皆さんが他のまちと比べ、熱中症にかからなくなったということを数字で現すことも効果的なPRであると考えています。

今年度は、新規事業として「熱中症予防・対処法」のDVDを作成しました。こちらもインターネットで見ることができますので、全国の方々に見ていただくことにより、熱中症の予防を心がけるとともに、熊谷市の「暑さ対策」を知ってもらいたいと考えていま

す。

これからも、熱中症による救急搬送者ゼロを目指して、「暑さ対策日本一のまち」として様々な団体と協力しながら、全国に向けて熊谷市の「暑さ対策」をPRしていきたいと考えています。

議席番号21 奈良中学校 小杉 健太 議員
熊谷市のホームページについて（総合政策部長）

小杉 健太議員さんの「熊谷市のホームページについて」にお答えします。

今、インターネットが身近になったことで、パソコンや携帯電話など、いつでも、どこでも手軽にホームページが利用できるようになりました。

熊谷市のホームページには、現在、1日平均約5,000件ものアクセスがあり、市が行っている事業やイベント情報、市民の皆さんが手続きをするときの案内など、様々な情報を発信しています。それらの多くの情報の中から、皆さんが必要としている情報を、すぐに見つけるようにまとめたり、トップページのわかりやすい場所に重要な情報を配置するなど、レイアウトを工夫しています。

ホームページの利用者には、お年寄り、目の不自由な方、外国の方など、様々な立場の人がいますので、文字の拡大や色の変更、音声読上げ、外国語への変換などの機能も用意しています。

また、専門用語や難しい言葉を使う場合は、やさしい表現となるように心掛け、写真やイラストなどを多く使い、視覚的に興味を持ってもらえるように工夫しています。

質問にありました市議会に関するページだけでなく、常に内容を確認し、皆さんが快適に利用でき、且つ伝えたいことが正しく伝わるような、やさしく分かりやすいホームページとなるよう努めていきたいと考えています。



質問番号3 総合政策部関係

議席番号5 大原中学校 ^{たかはし ゆうや}高橋 佑弥 議員

地元球団の支援について

2015年4月から「武蔵ヒートベアーズ」がBCリーグに参戦するということに興味を持っているのですが、現在中学校野球では、部員数が減り、休部になっている学校や興味を持つ人が減ってきたりと衰退してきています。そこで、「武蔵ヒートベアーズ」を支援し、名を広め、熊谷市の野球を盛り上げていく必要があると思います。野球を盛り上げていくために、これから「武蔵ヒートベアーズ」をどのように支援していくのでしょうか。

議席番号6 大原中学校 ^{あべ のぞみ}安部 希望 議員

交通の便について

駅周辺以外での移動手段が少なく、不便に感じている人が多いと思います。住宅街の方まで入ることが可能な民間バスが少なく、バスに乗ることにためらいを感じている人もいると思うのですが、民間バス会社の手の届かない範囲をどのようにしてカバーしているのでしょうか。また熊谷市地域公共交通総合連携計画を調べてみると、料金を上げてでも運行本数や運行路線の拡大、時間延長などを求めている人が50%もいるとわかったのですが、そのようなお客様のニーズには答えられないのでしょうか。さらにバスの利用者を増やすために、何か対策をする予定はありますか。

議席番号12 大麻生中学校 ^{たかはし かおり}高橋 花織 議員

さくらマラソンのコースについて

今年、私はさくらマラソンで5キロのコースを走りました。普段は殺風景な田園風景がこのときばかりは、ランナーの色とりどりのユニフォームで華やかになり、とても楽しい気分で走ることができました。しかし、競技場内にもどると、人の間を縫うようにラストスパートをする元気のよい小学生ランナーと重なり足がもつれそうになりました。できれば、競技場内だけでもコース分けをしていただけたらうれしいです。また、今後さらにさくらマラソンを盛り上げていくための計画等がありましたら教えてください。

議席番号15 吉岡中学校 ^{なりた}成田 ^{しゅうと}州都 議員

新幹線の停車本数について

2019 年にラグビーワールドカップが日本で開催されます。熊谷市では会場招致に向けて様々な活動を行っています。熊谷市が会場となった場合、他県や外国からの観戦客を呼び込むためにも、熊谷駅に停車する新幹線の本数を増やしてほしいのですが、増える計画などありますか。また、増やす働きかけなどはしているのでしょうか。

答弁

(市長)

高橋 佑弥議員さん、安部 希望議員さん、高橋 花織議員さん、成田 州都議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、高橋佑弥議員さんの「地元球団の支援について」ですが、「武蔵ヒートベアーズ」は、プロ野球の独立リーグ、BCリーグに新たに入ることになった新生球団で、熊谷市を本拠地とするため、ホームゲームの多くを熊谷さくら運動公園野球場で行うほか、江南総合公園も練習場所となる予定です。

球団では、来年4月の開幕に向けて、今、準備を進めているところですが、地元の人に応援してもらえる球団を目指し、野球教室をはじめ、地域の清掃活動なども計画しているようです。

年内には、入団する選手も決まる予定ですので、熊谷市でも、市民に愛される球団となるように「武蔵ヒートベアーズ」を応援していきたいと思っています。

次に、安部さんの「交通の便について」ですが、民間バスが走っていない地域の皆さんの通院や買い物、駅利用などの交通手段を確保するため、市では、こうした地域を結ぶ「ゆうゆうバス」を走らせています。

市内の広い地域を循環するタイプのため、どうしても本数は少なくなりますが、子供や高齢者、障害者のみなさんがご利用しやすいよう、料金は100円と設定しています。

熊谷市では、市内の公共交通がさらに便利になるよう、国、県の担当者、市民の代表者、バス事業者などの皆さんが集まる熊谷市地域公共交通会議の中で検討を進めています。

4月からは、さくら号、グライダー号、ムサシトミヨ号が新型車両となりました。皆さんも、ぜひ一度乗ってみてください。

次に、高橋 花織議員さんの「さくらマラソンについて」にお答えします。

熊谷さくらマラソン大会は、全国各地から約9,000人のランナーが参加する、熊谷市を代表するスポーツイベントです。平成3年に開催した第1回大会以来、高橋さんの地

元の熊谷さくら運動公園を会場として実施してきました。多くの市民ボランティアの皆さんや沿道の声援に支えられている大会でもあり、参加したランナーや競技役員の意見が反映される大会となるように、毎年取り組んでいます。

高橋さんからの意見は、大会実行委員会でも同じ様に反省点としており、来年3月の25回大会では改善したいと考えています。また、25回大会では、中学生が参加する5キロのコースを、新たに開通した幹線3号線とすることをはじめ、参加する方に新しい魅力を感じていただける様々な取り組みをしていきたいと考えています。

次に、成田さんのラグビーワールドカップを踏まえた「新幹線の停車本数について」ですが、昔からラグビーが盛んな熊谷市では、2019年ラグビーワールドカップ試合会場の招致を積極的に進め、来年3月には試合会場が決定する予定となっています。熊谷市は、新幹線の利用で東京から短時間で来られるラグビー専用会場としてアピールしています。

来年春には、長野ー金沢間が開業し、北陸新幹線の運行も始まります。より多くの新幹線が停車し、ワールドカップを受け入れる環境が充実するよう準備を進めたいと思っています。

議席番号5 大原中学校 高橋 佑弥 議員

地元球団の支援について（総合政策部長）

高橋 佑弥議員さんの「地元球団の支援について」にお答えします。

熊谷市では、球団設立の相談を受けてから、熊谷さくら運動公園や江南総合公園など、市の施設を使って活動していくことや、市長が球団と一緒に記者会見を行うなど、地域に密着して活動する市民球団を目指す「武蔵ヒートベアーズ」を応援してきました。

また、球団が開催する野球教室などのイベントを、市報やホームページなどを活用して、多くの方に知ってもらえるように情報発信をしています。

球団宣伝本部長に就任した「パンチ佐藤さん」も、これから一生懸命、宣伝・応援をしてくださると話していますが、一番の支援となるのは、ひとりでも多くの皆さんが球場に足を運び、選手や球団を応援していくことだと思います。

BCリーグという、新しいスタイルのプロ野球を、間近で数多く見ることにより、野球の楽しみ方も、身近なものになると思いますので、熊谷市のスポーツのシンボルとなるように、友達や家族など大勢の方と、武蔵ヒートベアーズを応援いただきたいと思います。

また、球団では、中学校の部活動の指導も行う計画がありますので、プロの選手の指導を受け、熊谷の野球を盛り上げられるよう、一層の活躍を期待しています。

議席番号6 大原中学校 安部 希望 議員
交通の便について（総合政策部長）

安部 希望議員さんの「交通の便について」にお答えします。

ゆうゆうバスは、民間バスの路線から離れた地域にお住まいの皆さんが、公共施設のほか、熊谷駅、病院、商業施設などを利用できるよう運行ルートを設定しています。

運行ルートに関しては、「私たちの地域にも走らせて欲しい。」とか、「回り道はしないで駅まで直線的なルートにして欲しい。」など相反する様々な要望を数多く頂いているため、熊谷市地域公共交通会議で検討しています。

安倍さんからご指摘のあった、「熊谷市地域公共交通連携計画」は、この中で策定したもので、この計画に基づき、平成23年10月から、江南地域を走る「ほたる号」や中心市街地を循環する「直実号」の運行を新たに始めたほか、既存路線についても、増便や運行時間の延長、ルートの変更などを行っています。

また、ご利用者からは、ゆうゆうバスがあとどのくらいでバス停に到着するのか知りたいとのご要望も多いため、10月1日から30日まで、バスの運行位置が携帯電話やスマートフォン等で確認出来るバスロケーションシステムの社会実験にも取り組みました。ゆうゆうバスをはじめ、民間バスなどの公共交通は、市民生活のために大切な移動手段であり、環境対策の面からも必要と考えています。

これからも、より便利なものとなるよう知恵を絞りたいと考えています。

議席番号12 大麻生中学校 高橋 花織 議員
さくらマラソンのコースについて（総合政策部長）

高橋 花織議員さんの「さくらマラソンのコースについて」にお答えします。

熊谷さくらマラソン大会は、ハーフマラソンをはじめ 1.5km の親子マラソンまで、6 種目 21 部門を設定するなど、多くのランナーのニーズに応える大会づくりに取り組んできました。限られた時間で、多くのレースを行うため、今年の 3 月の大会では、陸上競技場のフィニッシュ付近にランナーが集中するケースもありましたので、次回大会では、5 キロの競技のスタート時間を 5 分早めるほか、コース整理員の適切な配置等を行い、ランナーの安全を確保していきます。

次に、大会を盛り上げていく計画ですが、先ほど市長がお答えしましたように、競技場の北側を通る幹線 3 号線という道路が新たに開通したことから、ハーフの一部と 5 キロのコースを変更し、この広い道路を使って競技を実施することとしました。

このほか、ハーフと 10 キロでは、公式記録のほかスタートからゴールまでの実際の時間を計測する“ネットタイム”を導入することや、競技区分を見直し、入賞のチャンスを増やすなど、参加者の要望に応え、魅力のある大会となるように工夫していきます。

これからも、多くの皆さんに愛される大会にしていきたいと考えていますので、高橋さんも、ぜひ、参加してください。

**議席番号15 吉岡中学校 成田 州都 議員
新幹線の停車本数について （総合政策部長）**

成田 州都議員さんの「新幹線の停車本数」について、お答えします。

上越新幹線は、昭和 57 年に開業し、それに併せて熊谷駅への停車も始まりました。

現在熊谷駅には、上り下りを併せて合計 80 本以上が停車していますが、熊谷－東京間を約 40 分で結ぶ新幹線は、本市の便利さを高め、さらには新幹線の停車駅というイメージの向上にも結びつくなど、市民の生活に無くてはならないものとなっています。

さらに、2019 年のラグビーワールドカップの会場に本市が決まれば、「ラグビータウン熊谷」としてまちづくりを進めてきた熊谷市を、日本だけでなく世界に発信する、またとないチャンスであり、このチャンスを掴み取るためには、交通環境の向上も必要不可欠と考えています。

来年春には、長野－金沢間が開業し、北陸新幹線の運行が始まります。この開業により、既存の上越新幹線や長野新幹線の熊谷駅での停車本数がどう変化するかは、まだ分かりませんが、さらに増えるよう、引き続き、JR 東日本への要望などを行っていきます。



質問番号4 総務部関係

議席番号2 荒川中学校 ^{おおはら}大原 ^{りよ}理世 議員

市営の施設について

市民プールや市立図書館に行くと、いつもきれいにされており、気持ちよく利用することができます。もっと多くの方に、施設がきれいにされていることを知ってほしいと思いました。また、美しさを保つために、どのような工夫をされているのかとても気になりました。

そこで、各施設でチラシ等を配って施設のアピールをしたり、意見 BOX を設置し、利用者の声を掲示する等の工夫が考えられますが、熊谷市では、市営の施設が、より多くの方々に気持ちよく利用して頂けるように、どのような工夫を行っていますか。

答弁

(市長)

大原 理世議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

市民プールや図書館、皆さんが通っている中学校などは、市民全体の共有財産であり、大原さんのように次代を担う皆さんが、市の施設を大切にし、多くの方が気持ちよく利用できたらと願う気持ちは、大変心強く頼もしく思います。

熊谷市では、市の施設を有効に活用していただけるよう、施設の紹介やイベントの案内を市報やホームページに掲載しているほか、「公共施設を予約するシステム」を充実し、利用申し込み手続を簡略化したり、「指定管理者制度」という民間事業者による効率的で効果的な施設の運営に取り組んでいます。

また、一部の施設では、大原さんの質問にもありましたように、利用者の声を聞く意見箱を設置していますが、この意見箱以外にも、市長へのメールや手紙、市民の皆さんと私との懇談会としてハートフル・ミーティングを開催するなど、色々な方法で施設に対する意見をいただく機会を設け、利用者のサービス向上に反映できるようにしています。

これからも市民皆さんの意見や要望を広く伺いながら、さらに誰もが気持ちよく利用いただけるような施設の管理運営に努めていきます。

議席番号2 荒川中学校 大原 理世 議員

市営の施設について（総務部長）

大原 理世議員さんの「市営の施設について」にお答えします。

熊谷市では、市の総合的、計画的な行政運営を図るため「熊谷市総合振興計画」を策定し、昨年4月から後期基本計画に取り組んでいます。この計画では数値目標を設定し、「公共施設が利用しやすいと思う市民の割合」や「公共施設の利用率」の目標数値を達成できるよう様々な取り組みを行っています。

具体的な取り組みとしては、市報やホームページに施設の紹介やイベントの案内を

掲載して施設をPRしたり、市民体育館や市民ホールなど13の施設では、パソコンや携帯電話から、空き情報の確認や利用予約ができる「公共施設予約システム」を導入する一方、職員には接遇研修や窓口担当者研修などを実施して、利用者目線によるサービスの向上を図っています。

また、市の施設を民間事業者が代行して管理運営する「指定管理者制度」を活用し、熊谷文化創造館「さくらめいと」やさくら運動公園など29の施設で、効率的で質の高い施設運営を行っています。

このように、市では施設利用のサービス向上に努めていますが、意見箱や市長へのメール、手紙などで、市民皆さんの御意見を伺いながら、誰もが利用しやすい市の施設となるよう努めていきます。



質問番号5 市民部関係

議席番号10 玉井中学校 ^{あきやま ひなた} 秋山 比奈珠 議員

街灯設置について

私の住んでいる地域では街灯が少ないです。

そして、夜になると暗くてとても危なく、街灯があってもライトの色がブルーでありあまり明るくありません。

私達中学生は、夜遅くに塾や習い事が終わることもあります。不審者などから身を守り、安全に暮らすため、もう少し街灯が増やせないでしょうか。よろしくお願いします。

議席番号26 大里中学校 ^{こいけ りな} 小池 里奈 議員

女性の労働環境

家庭によっては、両親が夜遅くまで働いています。父親も手助けしなければなりません、家族をもっている母親にとっては、子どもの世話などをしなくてはなりません。

また、子育てばかりでなく、家庭で家事をしなくてはならない女性も多いはず。仕事を辞めずに社会で活躍したいと願っている女性が多いと思います。女性が働きやすい環境にすることは大きな課題です。

家族の世話や家事をしなくてはならない女性が働ける条件を整備しなければなりません、熊谷市はどんな政策を行っていますか。

議席番号28 妻沼東中学校 ^{まえはら なな} 前原 南名 議員

熊谷市ゆるキャラ知名度向上について

ニャオざねは、ゆるキャラグランプリでの成績があまりよくないようですが、ニャオざねの知名度を今後上げるためにどのような取り組みを行っているでしょうか。

また、新しいゆるキャラを作り、ニャオざねとともに熊谷を盛り上げるのはどうでしょうか。

答弁

(市長)

秋山 比奈珠議員さん、小池 里奈議員さん、前原 南名議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、秋山さんの「街灯設置について」ですが、熊谷市では、犯罪の起こらない環境を整備する目的で、通学路をはじめ暗くて危険な場所に、防犯灯と呼ばれる街灯を設置しています。

防犯灯の設置にあたっては、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、原則として地域の自治会に設置をお願いし、市は設置費用などを支援しています。

これからも地域と市が協力し、安心安全に暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

次に、小池さんの「女性の労働環境」について、お答えします。

国の労働状況に関する調査結果によりますと、日本の女性は、30代から40代前半にかけて、出産や子育てのため仕事を辞める傾向にあると報告されています。

法律で育児休業や短時間勤務が制度化され、多くの方が利用するようになってきていますが、家事や子育ては女性がするものと考えている人も多く、まだまだ、女性が働き続けることが、難しい現状であると感じています。

そこで熊谷市では、「子育て支援」を最重点施策として位置づけ、誰もが働きやすく、子育てしやすい環境をつくるため、保育所や放課後児童クラブなどの整備・拡充に積極的に取り組んでいます。

また、男性も家事や子育てに参加し、仕事と家庭生活の調和、いわゆる「ワーク・ライフ・バランス」を実現できるよう、様々な機会を通じて、事業所や市民の皆さんに情報発信しています。

次に、前原さんの「熊谷市ゆるキャラ知名度向上について」ですが、ニャオざねは、平成20年に、猫をモチーフにして、熊谷の武将である熊谷次郎直実をかけた、市民活動イメージキャラクターとして誕生しました。

そして、昨年の7月からは、ニャオざねを本市のマスコットキャラクターと位置づけ、商業や観光も盛り上げて行こうと、各種イベントや地域行事での活動も広げています。また、ニャオざねを身近に感じてもらえるよう、様々なグッズを作製しており、現在、キティちゃんとニャオざねがコラボしたグッズや、ニャオざねのぬいぐるみを販売しています。これから、ボールペンやトートバッグ、キティちゃんとコラボした靴下なども販売する計画ですので御期待ください。

ニャオざねが多くの市民の皆さんに愛され、熊谷市を盛り上げてくれるよう、これからもPR活動に努めていきたいと思っています。

議席番号10 玉井中学校 秋山 比奈珠 議員

街灯設置について(市民部長)

秋山 比奈珠議員さんの「街灯設置について」にお答えします。

熊谷市は自治会と協力し、毎年、防犯灯を設置しており、昨年度は約 190 基を設置しました。現在、市内には、15,800 基ほどの防犯灯があり、設置については、地域の状況をよく知っている自治会にお願いし、市では設置に要した費用に応じ、自治会に補助金を交付しています。

また、市では、平成 29 年度までに、市内にある全ての防犯灯を明るさや耐久性に優れ、電気料金も安い LED 防犯灯に交換することを目指しており、補助金を加算したり、交換費用の貸付制度を導入して、LED 防犯灯の設置・交換を推奨していますので、徐々に明るい LED 防犯灯に交換されると思います。

なお、塾の帰りなどに暗くて危険と感じるような場所がある場合は、保護者を通じて自治会の役員の方などに、防犯灯の設置について相談をしてください。

それから、秋山さんへのお願いですが、防犯灯が設置された場所は、明るく防犯効果が高くなります。しかし、頼りすぎると危険ですので、自分に降りかかる危険を未然に防ぐためにも、防犯ブザーを携帯したり、友達と一緒に帰るなどの心がけもお願いします。

議席番号26 大里中学校 小池 里奈 議員

女性の労働環境(市民部長)

小池 里奈議員さんの「女性の労働環境」について、お答えします。

最近では、子育てを積極的に担う男性「イクメン」が増えてきましたが、核家族の増加に伴い、家族の中で女性にかかる家事や子育ての負担が大きくなり、仕事を辞めざるを得ない女性も多くいます。

そこで熊谷市では、女性が働き続けられる環境を整備するため、今年 9 月には、熊谷西小学校の余裕教室に、三つ目となる児童クラブを開設するなど、ここ 10 年間で 15 箇所の児童クラブを新設して、働く女性の支援に取り組んでいます。

また、毎年 11 月に、「フォーラムくまがや」を開催し、女性が働きやすい労働環境の整備を積極的に実施している事業者を表彰し、女性が働き続けられる労働環境づくりの推進をしています。

さらに、女性が、家事や子育てなどをしながら働き続けられるためには、男女が性別にかかわらず、互いに認めあい・支えあって、それぞれが生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」を実現することも必要です。

そこで、年 2 回、男女共同参画の意義や取組などを掲載した、情報紙「ひまわり」を約 7 万部作成し、市報と一緒に全ての家庭に配布するほか、事業所にも送付し、啓発を図っています。

女性が働き続けられるためには、労働環境の整備のほか、家事などに対して家族の協力が不可欠ですので、小池さんも、家庭内で自分にできることを進んで手伝ってあげてください。

議席番号28 妻沼東中学校 前原 南名 議員
熊谷市ゆるキャラ知名度向上について(市民部長)

前原 南名議員さんの「熊谷市ゆるキャラ知名度向上について」にお答えします。

今年実施された「ゆるキャラグランプリ」では、ニャオざねは 1,699 体中、301 位という結果でした。ニャオざねは、熊谷市を幅広く P R するため、ニャオざねまつりやさくらマラソン、産業祭をはじめ、市内の企業や団体が実施するイベントや他市町村からの依頼にも積極的に出演し、ニャオざねを P R しています。さらに、テレビ局からの依頼で、日本テレビの「世界一受けたい授業」やテレビ朝日の「くりいむクイズミラクルナイン」という番組などにも出演しています。

また、今月の 22、23 日には、羽生市で行われる「世界キャラクターさみっと」に、今年も参加しますので、前原さんにも足を運んでいただき、ニャオざねを応援していただきたいと思います。

なお、新しいゆるキャラを作ることの提案をいただきましたが、現在、熊谷市に関係するキャラクターとして「えんむちゃん」や「あついぞ！熊谷」のシンボルキャラクター「あつべえ」があります。これらのほかに、複数のキャラクターを作製した場合、市のイメージが分散して定着しにくいとも考えられることから、現時点では、ニャオざねを全面的に活用していくことで、知名度を上げ、市の P R につなげていきたいと考えています。

質問番号6 市民部関係

議席番号18 別府中学校 ^{ふくしま}福島 ^{あいな}愛奈 議員

熊谷市の年齢別熱中症対策について

熊谷市は夏の猛暑で有名ですが、その猛暑で熱中症になる人も多いと思います。実際に私も部活動で体育館の競技をやっていますが、とても蒸し暑くこまめに水分補給を行っています。更に、別府中学校では気温が30度に達する場合にはエアコンをつけて授業を行っています。熱中症指数がレベル5になった場合には部活動を中止し、教室や図書室などでエアコンをいれ学習を行っています。私たち中学生は自分たちで対策が可能ですが、高齢者や幼い子ども達は、熱中症対策をするのは、とても困難なことだと思います。

そこで、熊谷市は年齢層別の熱中症対策として、どのような対策を行っているのでしょうか。

議席番号32 江南中学校 ^{つねよし}恒吉 ^{なつみ}夏実 議員

熊谷市の熱中症対策

熊谷市は暑さ対策をPRしています。「あついぞ！熊谷」としてTシャツを作ったり、あつべえなどのキャラクターもあります。しかし、暑さは自然問題なので日本一を継続するのは難しく、現に熊谷市は日本一ではなくなりました。そこで、暑さのPRでなく、熱中症対策が必要でないかと考えました。

最近では全国各地で熱中症による被害が多発しています。倒れるだけでなく死亡してしまう場合もあります。

熊谷市の取り組みとして、注意を喚起する放送を流したり、駅の入り口などにミストが設置してありますが、私たち中学生も参加・協力のできる熱中症対策などはありますか。

答弁

(市長)

福島 愛奈議員さん、恒吉 夏実議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。福島さんと恒吉さんのお二人から、熊谷市の熱中症対策についての質問をいただきましたが、関連した内容となりますので、合わせてお答えします。

熊谷市は、平成19年8月16日に当時の国内最高気温である40.9度を記録しました。それ以来、市民の健康を守るため、「暑さ対策日本一」を目指し、様々な暑さ対策に取り組んできました。中でも、熱中症対策については、平成20年に日本気象協会とタイアップし、当時、日本初となる熱中症予防情報発信システ

ムを導入しました。

市内30校の小学校に設置した観測機器で気温と湿度を観測するとともに、観測後の状況を予測し、市のホームページや熱中症予防情報メールで広く熱中症予防情報を発信しています。

また、6月から9月末までの間、熱中症になる危険性の高い日は、防災行政無線や広報車に加え、ごみ収集車が市内でごみ収集を行う際に、熱中症に注意するように放送を行うなど、市民が熱中症にならないように、取り組んでいます。

この間に熱中症にかかり、救急車で病院へ運ばれた人が今年は96人となり、去年の124人と比べ23%減りました。埼玉県全体では18%の減少ですので、熊谷市の熱中症対策の効果があったものと思っています。

これからも、暑さ対策日本一を目指して、熱中症対策に全力で取り組んでいきたいと考えています。

議席番号18 別府中学校 福島 愛奈 議員

熊谷市の年齢別熱中症対策について(市民部長)

福島 愛奈議員さんの「熊谷市の年齢別熱中症対策について」にお答えします。

はじめに幼児等への対策として、熊谷市が運営している保育所では、熱中症マニュアルを作成し、園児の熱中症予防に取り組んでいます。各保育室に温度計と湿度計を設置し、部屋の状態を適切に管理するとともに、園児のお昼寝の時には、保冷枕を使用しています。そして、小学校1年生にクールスカーフを配布し、夏の暑い日には、水にぬらしたクールスカーフを首に巻いて、暑さをしのいでもらっています。

次に小中学生への対策として、皆さんが学習しやすいように、小中学校の教室や図書室にエアコンを設置しました。

また、福島さんも授業の一環で講習を受けたと思いますが、中学2年生に、熱中症予防とAEDの使い方を学ぶ「暑さに負けるな中学生事業」を行っています。

次に高齢者への対策として、65歳になった単身高齢者と75歳になった高齢者に対して、クールスカーフを配布しています。

また、高齢者になると、暑さを感じにくくなり、熱中症にかかりやすくなるため、単身高齢者のお宅を地域の民生委員さんが訪問し、熱中症に注意するよう直接声掛けも行っています。

中学生の皆さんには、十分な運動と睡眠を取ることによって、暑さに負けない体をつくるとともに、熱中症予防の知識を身につけ、熱中症にならないように気をつけてください。

議席番号32 江南中学校 恒吉 夏実 議員
熊谷市の熱中症対策について(市民部長)

恒吉 夏実議員さんの「熊谷市の熱中症対策について」にお答えします。

先程の福島さんにもお答えしましたが、熊谷市が行っている中学生を対象とした熱中症対策として、熱中症の正しい知識と予防・対処方法を学ぶことにより、熱中症の発生を予防し、適切な対処ができる中学生を育成する「暑さに負けるな中学生事業」があります。

恒吉さんも受講したと思いますが、市内の中学 2 年生を対象に、中学校の先生による「熱中症の予防と対策」の学習、熊谷市消防本部の救急隊員による「応急処置の意義と A E D の使用方法」の学習を行うとともに、実際に A E D とマネキンを使って心肺蘇生法等の訓練を行い、修了後に、熱中症の対処法が記載された修了証を渡しています。

また、今年度は、熊谷市内の架空の熱熊中学校を舞台に、ニャオざねが出演する熱中症予防・対処法 DVD を制作しました。この DVD を、保育所や小中学校、公民館等に配付するとともに、図書館で貸出しを行っています。

そのほか、中学生も参加・協力できるものとして、学校や自宅での打ち水の実施やみどりのカーテン作りなどもあります。

恒吉さんへのお願いですが、これまで熱中症予防について、中学校で学習しましたので、自分自身が熱中症にならないようにするだけでなく、身近にいる幼児や高齢者が、熱中症にならないよう、気をつけてあげてください。



質問番号7 福祉部関係

議席番号7 熊谷東中学校 ^{うめざわ}梅澤 ^{つねよし}恒喜 議員

高齢者へのサポートについて

熊谷市内にもたくさんの老人ホームや介護施設がありますが、入所条件などが満たされず、入所できない人も多いと思います。そのような家庭に対して、何かサポートを行っているのか、教えてください。

議席番号30 妻沼西中学校 ^{おおつか}大塚 ^{あやな}彩奈 議員

学童保育の受け入れについて

私は、小学校の時に学童保育に入っていました。でも、私が行っていた所は人数の関係からか、受け入れが小学四年生までしかありませんでした。しかし、学童保育に行っている子供たちは両親が共働きであったりするので、家に帰っても誰もいない子もいます。また最近では、不審者や児童を狙った犯罪もメディア等からよく耳にします。

このような現状もあるので、小学生の学童保育の受け入れ人数をもう少し増やすことはできないでしょうか？

また、平日は難しいにしても夏休みなどの長期休みは特別な日程を組んでいただくことはできないでしょうか？よろしくお願いします。

答弁

(市長)

梅澤 恒喜議員さん、大塚 彩奈議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、梅澤さんの「高齢者へのサポートについて」ですが、熊谷市では65歳以上の高齢者の割合が25%を超え、市民の4人に1人が高齢者という状況にあります。このような高齢化は全国的な社会現象になっており、自分だけでは日常生活が困難な高齢者や一人暮らしの高齢者も増えている傾向にあります。このため、介護老人福祉施設への入所支援を始め、ホームヘルプサービスや日帰りデイサービスなど介護保険制度によるサービスのほかに、昼食の配食やふとん乾燥などの高齢者福祉サービスを行っています。

熊谷市としては、「いきいきあんしん 元気で長寿のまち くまがや」の実現を目指して、高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で、いつまでも健康で、いきがいのある日々を送れるよう、福祉サービスやサポートの充実に取り組んでいきます。

次に、大塚さんの「学童保育の受け入れについて」ですが、子供たちの皆さんが安心して生活できる環境をつくるためにも、学童保育は大切な事業の一つであると考えています。

熊谷市では、小学3年生までの希望者全員を受け入れることを目指して、主に小学校の余裕教室を活用し、これまで施設を整備してきました。施設の数、民間に委託している6箇所を含め合計で43箇所、総定員は1,820人になりました。

また、大塚さんも利用されたことと思いますが、夏休みなど長期休業期間については、朝から夕方まで施設を開けたり、期間を限定して受け入れたりしています。

来年度からは、子ども・子育て支援新制度が始まる予定で、対象の児童が小学6年生まで広がることになります。そのため、子供たちが一層の輝きを放ち、熊谷で生まれ育ったことを誇りに感じられる環境づくりに向け、しっかりとした整備計画を作り、取り組んでいきます。

議席番号7 熊谷東中学校 梅澤 恒喜 議員

高齢者へのサポートについて（福祉部長）

梅澤 恒喜議員さんの「高齢者へのサポート」について、お答えします。

高齢者へのサポートとしては、大きく分けて、施設に入所して受けるサービスと自宅で受けるサービスがあります。

自宅で介護が困難な高齢者等が特別養護老人ホームという介護老人福祉施設へ入所して受けるサービスについては、施設定員が限られていますので、待機状態となっている方も多くいます。施設を整備するには多くの費用がかかり、介護保険料の上昇にもつながりますので、計画的に整備していきたいと考えています。

また、自宅で受ける介護サービスについては、ヘルパーが自宅を訪問して食事や入浴の介助、炊事や洗濯などを行うホームヘルプサービス、介護施設に通って食事や入浴などのサービスを受ける日帰りデイサービス、24時間訪問介護と訪問看護を一体的に行う定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスなどが介護保険で利用できるようになっています。

そのほか、見守りも兼ねて昼食を自宅まで配達する配食サービスや、一人暮らしの高齢者宅に訪問し、食事の用意や清掃、洗濯、買い物など、簡単な支援を行う軽度生活援助事業などのサービスも行っています。

これからも、高齢者の方が、住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう、福祉サービスやサポートの充実に取り組んでいきたいと思っています。

議席番号30 妻沼西中学校 大塚 彩奈 議員
学童保育の受け入れについて（福祉部長）

大塚 彩奈議員さんの「学童保育の受け入れについて」お答えします。

熊谷市では、小学校区ごとに学童保育に入れなかった待機児童の数や翌年4月に入学する予定人数などを元に施設を整備してきました。この10年間では15の施設を整備し、定員は585人増えました。しかし希望者も増えてきましたので、残念なことです。今年5月1日現在での待機児童数は78人になります。

来年度には、学童保育の対象が小学6年生までになる予定ですが、アンケート調査などを検討材料にして、将来学童保育を希望する児童がどれ位の人数になるかを考えながら整備していきます。

整備するには多くの費用と時間が必要なことから、すぐに全員を受け入れることは困難です。そのため整備が完了するまでの間は、優先度が高い児童から受け入れることになります。

また、夏休み期間については、家庭の都合などで学童保育を長期間利用されない児童もいることから、夏休み期間限定で受け入れている場合があります。今年の利用者数は148人でした。なお、春休み期間中も限定で受け入れをする場合があります。

施設の定員は、施設の面積を元に定められていますので、これからもできる範囲で工夫しながら施設の運営をしていきたいと思っています。



質問番号8 環境部関係

議席番号9 玉井中学校 ^{いずみた りょう} 泉田 瞭 議員

熊谷市の環境対策について

熊谷市には主に荒川や利根川といった有名な川があります。しかし、ここ最近熊谷の河川が汚いという記事を熊谷市の市報で見ました。

そして、市報には河川が汚れる原因の7割は一般家庭からの生活排水と書いてありました。他の3割の原因は何ですか。これに対して熊谷市が行っている対策は何ですか。これから、私達ができることはどのようなことですか。教えてください。

議席番号17 別府中学校 ^{かたぎり まさと} 片桐 真人 議員

クールシェアのPRとスマートシティの取り組みについて

クールシェアに取り組んでいるそうですが、まだあまり知られていません。別府中でも、学校だよりやホームページでお知らせをしていますが、ほとんど使用がされていない状況です。利用する人が増えれば、電気代も節約できるし地球にも優しいと思います。熊谷各地で積極的にPRしてはいかがでしょうか。

また、別府地区に熊谷スマートシティが作られています。ここでは、道路が普通のアスファルトではなく、反射板がついているため体感温度を外気温度より－3.5℃を目指していると聞きました。そのスマートシティと同じような街を少しでも多く作るよう検討していただけないでしょうか。

議席番号19 三尻中学校 ^{まつむら たかみつ} 松村 峻充 議員

家庭・市の節電対策について

暑いことで有名な熊谷では、夏になると熱中症に関する防災無線をよく耳にします。その熱中症対策の1つに「エアコンを上手に使う」というものがありました。エアコンの使用と関連して出てくるのは電力の消費問題だと思います。

そこでお聞きしたいのですが、熊谷市が各家庭で使うエアコンの節電方法について推奨していることがあれば教えてください。また、市役所など市の建物においての節電対策があれば教えてください。

議席番号25 大里中学校 ^{かただ}堅田 ^{りゅうたろう}龍太郎 議員

熊谷市内自主清掃

大里中学校では、朝清掃を行っている部活動があります。朝 20 分間、学校の周辺のゴミを拾っています。市内でも、会社の方々が路上のゴミ拾いをしている姿を見かけたことがあります。このような学校や会社が増えれば、熊谷市がよりきれいになっていくと思います。

熊谷市内の学校や会社ではどれくらいの人たちがゴミ拾いや朝清掃に取り組んでいますか。また、熊谷市が中心となってキャンペーン活動を一定期間するなどして、市内全体に広めることはできないでしょうか。

答弁

(市長)

泉田 瞭議員さん、片桐 真人議員さん、松村 峻充議員さん、堅田 龍太郎議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、泉田さんの「熊谷市の環境対策について」ですが、市内には、荒川と利根川の二大河川をはじめ多くの河川が流れ、地下水や湧水など豊富な水資源に恵まれています。こうした良質な水環境は、生活に潤いを与え、動植物の生息にとって大切なものです。

熊谷市は、水質汚濁の主な原因である生活排水や、工場などからの汚濁物質の排出を抑制することにより、水環境の保全に取り組んでいます。

次に、片桐さんの「クールシェアのPRとスマートシティの取り組みについて」ですが、熊谷市のクールシェアは、市と商工会議所、青年会議所が協力して「クールシェアくまがや実行委員会」を組織し、クールスポットの紹介等、各種事業を行っています。

熊谷の特徴は、事業をとおり、人のつながりを深めることや、コミュニティやまちの活性化も目的としており、この取り組みに対して、去年は国際機関から最優秀賞を受賞しました。これからも、暑さ対策日本一を目指す熊谷から熊谷流クールシェアを発信していきます。

また、別府地区のスマートタウンは、全ての住宅が太陽光発電、家庭用燃料電池、LED照明等を装備したスマートハウスという環境に配慮した住宅ゾーンです。熊谷市は、このような住宅を市内全域に広め、暮らしやすく環境にもやさしいまちづくりを進めていきたいと考えています。

次に、松村さんの「家庭・市の節電対策について」ですが、現在、温暖化が地球規

模で進行し、熊谷の夏は日本でも有数の暑さになり、エアコンが欠かせなくなっています。

しかし、家庭の電力消費の割合でエアコンが約5割強というデータもありますので、松村さんが考えているようにエアコンを上手に使用することは、大変重要になります。

このため、家庭や学校で、みなさんが少しずつ節電の努力をすることが、安定した電力供給やCO₂の削減につながり、ひいては地球温暖化防止に貢献となりますので、節電の取組みに協力をお願いします。

次に、堅田さんの「熊谷市内自主清掃について」ですが、熊谷市環境基本計画では、「環境美化の推進」を施策の一つに掲げています。堅田さんが通う大里中学校では、朝、学校周辺を自主的に清掃している部活動があるとのことですが、こうした美化活動は単に地域をきれいにするだけではなく、地域のコミュニティづくりにつながる大切な活動です。この活動が、学校だけでなく、企業や団体、そして地域社会に広がっていけば、熊谷市がゴミの少ないよりきれいな魅力的なまちになっていくものと考えていますので、熊谷市としては、様々な機会をとらえて、こうした美化活動を積極的に働きかけてまいります。

議席番号17 別府中学校 片桐 真人 議員

クールシェアのPRとスマートシティの取り組みについて（副市長）

片桐 真人議員さんの、「クールシェアのPRとスマートシティの取り組みについて」にお答えします。

まず、クールシェアのPRについてですが、市報やホームページに取組内容の掲載、クールシェアスポットを網羅した「クールシェアマップ」の配布、協力施設や店舗にのぼり旗の設置とステッカーの表示、また楽しみながら、クールシェアを知ってもらうためのイベント開催など、様々な方法でPRを行っています。これからも、効果的な周知を工夫したいと考えています。

次に、8月に街開きをした別府地区のスマートタウンは、エネルギーの地産地消を目指した街づくりや、「日本一暑いまちから広げる省エネ・創エネ」をコンセプトに、モデル地区として、熊谷市が民間事業者と連携して開発したのですが、他の地区に同様な街を開発する事業は現在予定していません。

しかし、スマートタウンを構成するスマートハウスは、「省エネ・創エネ・蓄エネ・エネルギーの見える化」など、環境に配慮した最新技術を取り入れた住宅で、熊谷市の温暖化対策に大きな効果があることから、補助制度を今年の7月に創設し、このスマートハウスを全市的に普及させたいと考えています。

これからも、エネルギーの有効活用や暑さ対策を推進し、環境にやさしいまちづくりに取り組んでまいりたいと考えています。

議席番号9 玉井中学校 泉田 瞭 議員

熊谷市の環境対策について(環境部長)

泉田 瞭議員さんの「熊谷市の環境対策について」にお答えします。

熊谷市内の河川の水質については、主な河川などを定期的に測定し、その結果を市報でお知らせしています。

河川の汚れの主な原因は、一般家庭からの生活排水のほかに工場などからの排水や、誤って油などが直接川に流れてしまうような水質事故があります。

その対策として、熊谷市では、工場などの排水が法律で定める基準を超えていないか、定期的に立入検査を行っています。その結果、基準を超えて河川などに影響を及ぼす恐れが見られた場合は、基準を守るよう指導を行っています。

また、誤って油などを流した工場に対しては再発防止対策を行うよう指導しています。このような検査等を行うことで、工場などからの排水による河川への影響は少なくなっていると考えています。

しかし、何と言っても河川の汚れの多くは生活排水ですので、熊谷市では対策として、河川や水路などの公共用水域の水質改善を図るため、汲取り便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の促進などに取り組んでいます。

中学生の皆さんには、家庭や学校で洗剤やシャンプーなどを使い過ぎず、てんぷら油やみそ汁など流さないよう、環境意識を持って生活していただくことをお願いします。

議席番号19 三尻中学校 松村 峻充 議員

家庭・市の節電対策について(環境部長)

松村 峻充議員さんの、「家庭・市の節電対策について」にお答えします。

熊谷市の夏はとても暑く、熱中症は屋内でも発生するため、エアコンを上手に使うことは、健康を保つ上で大変重要なことですが、一方で夏は冷房等の使用により電力需要が高まるため節電を心掛けることも必要となります。熊谷市では、エアコンの節電について、冷房時に家族が同じ部屋で過ごす、フィルターを掃除する、「省エネモード」を使う、温度設定は28度を目安とする等の方法を、市報やホームページに掲載し、節電意識の向上に努めています。

次に、市の建物の節電対策では、室内温度を夏は28度、冬は20度に設定することや、無駄な照明の消灯、また、消費電力の低いLED照明の導入を推進しています。あわせて、全庁的に定時退庁に努める「節電ノー残業デー」や、クールビズ、ウォームビズの実施など、様々な方法で節電に取り組んでいます。

こうした節電は、地球温暖化の重要な対策の一つとなっています。温暖化対策は、市民と行政が一体となって取り組んでいかなければ効果が上がりません。中学生のみなさんも、家庭で見えていないテレビや使用していない電気をこまめに消すなど、身近にできることから協力をお願いします。

議席番号25 大里中学校 堅田 龍太郎 議員

熊谷市内自主清掃（環境部長）

堅田 龍太郎議員さんの、「熊谷市内自主清掃について」にお答えします。

まず、熊谷市内の自主清掃活動としては、自治会ごとに環境美化推進員さんを委嘱して、ごみ集積所を中心とした環境美化活動を行っているほか、春と秋のごみゼロ運動では、市内各地域で道路や水路の清掃活動に取り組んでいます。また、公園サポーターとして、公園の除草や清掃を自治会等に行っている活動やロードサポーターとして、国道や県道の清掃を学校や企業、ボランティア団体に行っている活動もあります。

質問の市内の会社等の自主清掃については、詳細な実施状況は、把握していませんが、市役所通りや熊谷駅前広場などでは、熱心に取り組んでいただいています。また、市内の小中学校については、大里中のほか、大幡中、江南中で学校周辺も含めた朝清掃に取り組んでいます。

次に、春のさくら祭、夏のうちわ祭、花火大会をはじめ、国宝に指定された妻沼聖天山などに、市外から訪れるお客様が大変増加しています。そうした方々を歓迎する上で、さらに多くの市民や企業・団体の皆さんに自主清掃に取り組んでいただきたいと考えておりますので、熊谷市として市報やホームページへの掲載、各種会議等で積極的に働きかけ、環境美化活動の普及拡大を図っていきます。

中学生の皆様にも、こうした活動にぜひご協力をお願いします。

質問番号9 産業振興部関係

議席番号1 荒川中学校 谷田^{たにだ}和基^{かずき} 議員

熊谷市の伝統文化について

熊谷市では、うちわ祭や花火大会など地域の伝統的なイベントが盛んに行われています。市内のこの伝統文化の素晴らしさを更に多くの方に知って頂くために、どんなアピールをしていますか。

答弁

(市長)

谷田 和基議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

私たちの郷土・熊谷には、春のさくら祭に始まり、夏のうちわ祭や花火大会、そして秋のえびす祭など、市の内外から多くのお客様がお越しになる祭りや伝統行事がたくさんあり、市民の誇りとなっています。

熊谷市では、その素晴らしさを、20万市民が共有できるように市報等でお知らせするとともに、市や観光協会などのホームページ、そして、皆さんのお手元にあるような観光情報誌(※るるぶ熊谷)等を通じて積極的にPRを行い、より多くのお客さまに熊谷に足を運んでいただけるよう努力をしています。

また、今年の7月1日からは、全国的にも例がない、祭りの振興を目的とした「あついぞ！熊谷お祭り条例」を施行し、注目を集めています。

この条例は、市民や事業者の皆さん、市の三者が力を合わせて、熊谷の祭りや伝統行事を盛り上げ、地域の活性化につなげていくとともに、皆さん達のような未来を担う世代に引き継いでいこうとするものです。

今、全国的に人口減少が問題となっていますが、こうして熊谷の良さをアピールしていくことが「人が集まるまち」につながると考えています。

私は、これからも、熊谷の祭りや伝統行事に対する理解や関心が深まるよう、様々な機会をとらえて、その魅力について一生懸命、情報発信をしていきたいと考えています。

議席番号1 荒川中学校 谷田 和基 議員
熊谷市の伝統文化について（産業振興部長）

谷田 和基議員さんの「熊谷市の伝統文化について」にお答えします。

今年の「熊谷うちわ祭」には3日間で75万人、「熊谷花火大会」は、あいにくの雨模様でしたが、30万人の人出がありました。

また、国宝に指定された「歓喜院聖天堂」がある「妻沼聖天山」には、昨年85万人の方が訪れています。このように、熊谷には市内外から大勢のお客様を引き付けるたくさんの観光資源があり、効果的なPRを行っていく必要があります。例として、うちわ祭のポスターを首都圏の駅に掲示したり、わかりやすく手に取ってもらいやすい観光情報誌として、皆さんのお手元にある「るるぶ熊谷」を発行し、高速道路のサービスエリアなどにも置いています。

第3弾となる今回は、旅のけん引役とされる女性をターゲットに、市内の周遊コースを紹介するなど、より親しみやすい工夫を凝らしています。

また、先月、「熊谷市観光協会ホームページ」を一新しました。写真等を多用した、よりアクセスしやすいデザインが好評であり、多くの方々に熊谷を訪れていただくきっかけづくりになると考えています。皆さんもぜひご覧になって下さい。

さらに、「あついぞ！熊谷お祭り条例」では、7月1日を熊谷お祭りサポーター宣言の日と定め、お祭りに対する意識の高まりを図ることとしています。市のホームページから、「熊谷お祭りサポーター宣言書」をダウンロードし、応援したいお祭りへのメッセージが記入できるようになっています。

このほかにも、観光・物産展やスポーツイベント等で、観光PRや、名産品や地元グルメのお店の出店をお願いするなど、熊谷の魅力発信に積極的に取り組んでいます。



質問番号10 都市整備部関係

議席番号4 富士見中学校 ^{あなみ みほ} 阿南 美穂 議員

学校や市役所、公民館での耐震化について

ここ数年、大きな地震が頻繁に起こっています。それを受けて、学校や市役所、公民館等の公共施設も大掛かりな耐震工事があちこちで行われているようです。万が一、災害が起こった際に避難場所になる公共施設が地震に十分に対処できる場所であることは、私達市民にとって大きな安心につながります。

そこで、市内公共施設の耐震工事の現在の進捗状況を教えていただければと思います。よろしくお願いいたします。

議席番号23 大幡中学校 ^{しぶいち しょうた} 四分一 翔太 議員

自転車専用道路について

自転車は、原則車道を通るようにと学校でも教わりました。広い歩道などはその限りではないそうですが、僕の住む学区ではあまりありません。

市内を走ると、「自転車専用道路」が設置されている区域を見かけます。

歩行者とは別な道を安全に走ることができる専用道路は、とてもいいなあと感じながら利用します。

今後、さらに専用道路を広げる予定がありますか。また、どのような場所に設置されていくのかをお聞きます。

答弁

(市長)

阿南 美穂議員さん、四分一 翔太議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

初めに、阿南さんの「学校や市役所、公民館での耐震化について」ですが、万が一、大地震が発生し市民の方が被災されたときは、やむを得ず一定期間、避難所に避難していただくことが考えられます。

避難所は、災害時に避難者を受け入れる「指定避難所」や指定避難所を補助する「補助避難所」、高齢者や障害者などを受け入れる「福祉避難所」などと、その役割が分かれています。小学校は「指定避難所」として、また、皆さんの通っている中学校は「補助避難所」として位置づけられています。先の東日本大震災の時もそうでしたが、大地震の後は、必ずと言っていいほど、大きな揺

れを伴う余震が発生しています。

避難所は、避難者の安全を確保するためにも、余震に対して安全な場所であることが求められます。そのため、熊谷市では避難所となる市有施設の耐震化を優先的に行うとともに、その他の施設についても、計画的に耐震化を進めています。

次に、四分一さんの「自転車専用道路について」ですが、自転車は、買い物や通勤・通学、レジャー等に利用されており、環境に優しく健康にも良い乗り物として、利用ニーズが高まっています。

その一方で、自転車の関係した交通事故が増加し、自転車が安全に通行しやすい環境の整備と交通ルールやマナーの普及促進が大きな課題となっています。熊谷市には、文化やスポーツの集客施設、神社仏閣や自然などの観光資源が各所に点在し、更には、荒川と利根川の堤防上に整備された大規模自転車道があり、サイクリングを楽しむには絶好の環境が整っていると考えています。

これからは、自転車や歩行者が安全に安心して通行できる交通環境の整備を進めていくとともに、更なる自転車道ネットワークの拡大を図っていきたいと考えています。

議席番号4 富士見中学校 阿南 美穂 議員

学校や市役所、公民館での耐震化について（都市整備部長）

阿南 美穂議員さんの「学校や市役所、公民館での耐震化について」にお答えします。

熊谷市では、平成21年3月に作られた、建築物の耐震化の計画に基づき、市有施設の耐震化を進めています。市有施設は災害時の活動拠点や避難所として重要な役割を果たすため、計画的かつ着実な耐震化が必要となります。

このため、災害対策施設、避難対策施設又は一時避難施設などとなる市有施設の耐震化を優先的に進めてきました。

具体的な耐震化の状況ですが、避難所である小中学校の校舎の耐震化は、平成21年度までに全て完了しており、体育館の耐震化も、平成29年度までには、全て完了する予定です。また、市役所の本庁舎については、平成27年度末までに耐震工事を完了する予定で準備を進めています。

なお、その他公民館などの市有施設についても、それぞれの施設のあり方を検討する中で、必要に応じて計画的に耐震化を進めていきたいと考えています。

議席番号23 大幡中学校 四分一 翔太 議員

自転車専用道路について（都市整備部長）

四分一 翔太 議員さんの「自転車専用道路について」にお答えします。

熊谷市は、地形的に比較的平坦で、晴天率も高いことから、自転車利用に適した地域であると思われます。こうした特徴は、自転車の利用状況にも表れており、中心市街地での自転車交通量は、県内でもトップクラスとなっています。

この一方で、自転車と歩行者による事故も発生しており、自転車と歩行者が安全に安心して通行できる環境整備が急がれています。

熊谷市は、平成20年1月に、国から全国98箇所の一つとして、中央交番前の県道太田熊谷線、国道17号、市役所通線などを含む熊谷駅周辺が自転車通行環境整備のモデル地区に指定されました。県道太田熊谷線やさいたま博通りの整備は、そのうちの一つとして行われたもので、これから、市役所通線や北大通線等の整備を順次、進めていく予定です。

そして、国、県と更なる連携を図りながら、中心市街地の自転車走行環境を整え、既存のルートとのネットワーク化を進めて行きたいと考えています。



質問番号11 建設部関係

議席番号22 奈良中学校 ^{こみや めぐな} 小宮 恵奈 議員

中奈良歩道橋の整備について

私たちが通う奈良中学校の学区には中央に国道 407 号が通っています。この国道を通るときに地域の方や奈良中生のほとんどが、中奈良歩道橋を使用します。この歩道橋をより整備し、使いやすくしていただくことは可能ですか。

この質問を出した理由は 2 つあります。

1 つ目は階段が非常に急で、幅が狭いからです。私たちにとって大変ということは、地域のお年寄りの方が使用するのはいっと困難だと考えられます。そして、使用が大変な歩道橋の使用を避け、交通量の多い 407 号を横断するという、安全よりも楽をとってしまう人が出てきてしまいます。

2 つ目は雨が降るととてもすべるからです。

中奈良歩道橋は自転車を押して渡ることができるのですが、自転車が通るところの一部がコンクリート以外のすべる材質でできていることから、特に雨が降ると非常によくすべり、自転車を押し上げるのが難しくなってしまいます。

議席番号24 大幡中学校 ^{むらかみ ありさ} 村上 安里彩 議員

第二北大通り線の開通について

現在の北大通りは、国道 17 号の銀座付近から、市役所前を通り、石原付近で再び 17 号と合流しています。市街地が広がり、車の交通量も増えた現在、17 号だけでなく、北大通りの渋滞もひどくなっていると聞きます。そんな現状を踏まえ、第二北大通り線が計画されたと聞きました。

渋滞する市街地を通らずに、スムーズに東西を移動できるこの道は、とても便利だと私も思います。

今のところ、上之付近から大原まで部分的に開通しています。まもなく私の家のすぐ近くを通るそうですが、今後どのように開通する計画でしょうか。また、その道の周囲をどのように開発していくのか、市としての計画と考えをお聞きます。

議席番号31 江南中学校 ^{いいだ}飯田 ^{りょう}龍 議員

橋の増築について

いくつかの橋の強度はかなり低く、地震や大雨による急な増水などの自然災害が起きたときに、橋が崩れてしまう恐れがあると聞きました。そのため、早い段階で補強・増築する必要があるのではないかと考えます。

また、補強・増築するためには多くの資金が必要になると思うのですが、熊谷市として対策方法などをお聞かせください。

答弁

(市長)

小宮 恵奈議員さん、村上 安里彩議員さん、飯田 龍議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、小宮さんの「中奈良歩道橋の整備について」にお答えします。

中奈良歩道橋の管理者であります埼玉県では、現場の状況から、お年寄りや子供達の利用を考えた改良が必要と考えています。工事方法などについて、難しい点もありますが、県では、改善方法を検討し、工事等を行っていくとのことです。

熊谷市では、今後も、歩道橋などの管理も含め、通学路の交通安全対策事業や、ゾーン30事業などにより、市民の皆さんの安全確保に取り組んでいきます。

次に、村上さんの「第二北大通り線の開通について」にお答えいたします。

第二北大通り線は、国道17号佐谷田南交差点から、国道407号の原島地内までの、全長約6.3キロメートル、道路幅20メートルの道路です。17号と407号の2つの国道を結ぶことから、この道路が開通しますと、市民の皆さんが非常に便利になり、また、市街地の渋滞の緩和などにも役立つと考えています。

現在、かめの道から国道407号までの区間の事業を進めていますが、熊谷市への招致活動を行っています、ラグビーワールドカップ開催の2019年度全線開通を目標として、土地の所有者をはじめ、地元の皆さんのご理解とご協力をいただきながら整備をしていきます。

熊谷市では、これからも、計画的に第二北大通り線などの幹線道路と、暮らしに密着した生活道路などの整備を進めていきます。

次に、飯田さんの「橋の増築について」にお答えします。

現在、熊谷市で管理している道路橋は、1,068橋あります。このほか、国、県で管理している橋もあります。これらの橋の傷み具合をなるべく早く把握し、安全対策工事などを行うことで、事故の発生を防ぎ、橋を長持ちさせていくことが重要ですので、「熊谷

市橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

今後、この計画を基に皆さんが安心して利用できるよう、橋の安全確保に努めていきたいと考えています。

議席番号22 奈良中学校 小宮 恵奈 議員

中奈良歩道橋の整備について（建設部長）

小宮 恵奈議員さんの「中奈良歩道橋の整備について」にお答えします。

県が管理する熊谷市内の歩道橋は、中奈良歩道橋を含め 20 橋あります。老朽化の程度に違いはありますが、現在、定期的に保守点検し、必要な安全対策を行っていることです。

特に、中奈良歩道橋は、建設後 40 年経過していることから、老朽化も進んでおり教育委員会、熊谷警察署などで組織します、熊谷地区通学路安全検討委員会においても、改善対策が必要であると指摘を受けていますので、市としても、利用者皆さんの安全確保のため、早期に改善対策工事ができるよう、引き続き、埼玉県にお願いしていきたいと考えています。

小宮さんも、道路や橋を利用された時に、気付いたことなどがありましたら、ご面倒でも、市役所に御連絡ください。

議席番号24 大幡中学校 村上 安里彩 議員

第二北大通り線の開通について（建設部長）

村上 安里彩議員さんの「第二北大通り線の開通について」にお答えします。

現在、第二北大通り線は、県立熊谷農業高等学校北側の東武線の跡地から、熊谷市水道庁舎の南側を通過し、国道 407 号までの約 500 ㍍の区間について、地元の皆さんや、土地所有者などとの話し合いを行っています。

市長が、お答えしました目標年度に、全線を開通することができるよう進めて行きたいと考えています。

また、周辺の開発についてですが、大部分が、都市計画法で定める市街化区域として指定されていることなどから、第二北大通り線の全線開通後には、住宅や店舗、工場などの建設も見込まれると考えています。

道路は、市民の皆さんの生活を便利にし、産業を振興するとともに、災害時には被災者の救出や復旧、復興にとっても大切な社会基盤のひとつです。

熊谷市では、国、県と協力し、これからも、計画的に整備して行きたいと考えています。

議席番号31 江南中学校 飯田 龍 議員

橋の増築について(建設部長)

飯田 龍議員さんの「橋の増築について」にお答えします。

現在、熊谷市が管理している道路橋 1,068 橋のうち、橋の長さが 15m以上の 55 橋を対象に、平成 24 年度、傷み具合等の詳細な点検を行い、その結果を基に、どの橋からどの様な補修を行っていくのかなどを示した「熊谷市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、ホームページで市民の皆さんにお知らせしています。今後、この計画に沿って、補修工事などを実施していく予定です。

また、15m未満の橋についても、定期的に点検し、計画的に修繕等を行っていきます。

高度経済成長の時代を中心に、生活を便利に、豊かにし、経済を発展させるため道路や橋などの社会資本が整備されてきました。このため、建設されてから 50 年を迎え、老朽化する橋もこれから増えていきます。早期に有効な補修を行うことで、橋の安全を確保していきます。

また、橋を利用される市民の皆さんからのご連絡なども、大切な情報と考えていますので、飯田さんも、気になる橋などがありましたらご面倒でも、市役所にご連絡ください。



質問番号12 教育委員会関係

議席番号11 大麻生中学校 ^{は せ べ しゅん} 長谷部 俊 議員

自転車による交通事故への対策について

最近、私たちの身近なところで自転車による交通事故が多発しているように思います。新聞に目を向けても、こういった記事がよく報道されています。

私たちの学校では、自転車の乗車時に「ヘルメットの着用」を義務づけており、日々、交通安全に努めています。私たちの学校は常時自転車通学ではありませんが、部活動等での利用が多いため、このような対策をとっています。そこで、私たちの学校だけでなく、熊谷市全体の学校でヘルメットの着用を義務づけてはいかがでしょうか。

議席番号13 中条中学校 ^{たけもと かんた} 竹本 幹太 議員

伝統芸能招致について

私たちの学校では、毎年熊谷会館に「松竹大歌舞伎」を見に行き、伝統芸能に触れる良い機会としていました。音楽や国語の授業で事前学習を行い、観に行っているうちに、「歌舞伎」への興味も深まり、楽しく観賞できるようになってきました。しかし、来年の3月で熊谷会館が閉館になってしまい、大変残念です。今後、熊谷市として歌舞伎や狂言などの伝統芸能を熊谷の施設に招致していただき、中学生に鑑賞の機会をつくっていただけないでしょうか。

議席番号14 中条中学校 ^{よしの さつき} 吉野 颯希 議員

太陽光発電パネルの設置について

本校の新しくできた体育館には屋根に太陽光発電パネルが設置されています。これは、新しく土地を使わずに今ある場所を有効利用するのに適した方法だと思います。他にも、例えばプールに日よけなどをつくって、その上に太陽光パネルを設置することで、電力をつくと同時に熱中症対策にもなると思います。

今後、各学校の屋上やプールなどにさらに太陽光発電パネルの設置を検討していただけないでしょうか。

議席番号29 妻沼西中学校 おおおか はると 大岡 遥人 議員

急激な天候の変化による小中学校の対策について

今年の 8 月、愛知県の私立高校の野球グラウンドに雷が落ち、試合中の野球部員が 1 名亡くなってしまうという事故が起きました。これは、愛知県だけでなく、埼玉県に住む私たちにとっても人ごとではありません。7 月にも午後 3 時過ぎに妻沼地方では竜巻のような急激な天候の変化が起きました。そのときは、6 時間目の授業中だったため生徒に対する被害はありませんでしたが、「雲行きが怪しいな〜」と思ってから 5 分程度で雹・突風が吹き荒れました。

このような急激な天候の変化に関して、熊谷市ではどのような対策を行っていますか？また、今後はどのような対策を行っていきますか？

答弁

(市長)

長谷部 俊議員さん、竹本 幹太議員さん、吉野 颯希議員さん、大岡 遥人議員さんの質問に、私から全般的にお答えをします。

はじめに、長谷部さんからの「自転車による交通事故への対策について」ですが、埼玉県警察本部の交通事故統計によると中学生の交通事故の中で最も多いのが、自転車乗用中であります。ヘルメットは、事故等で転倒した際に、頭部に加わる衝撃をやわらげる保護具であると考えています。

市では、ヘルメットの着用について以前に調査しましたが、既に多くの学校で取り組んでいることもあり現在は、各学校の対応としています。また、平成20年6月の道路交通法改正により、小学生以下の児童と幼児のヘルメットの着用については、保護者の努力義務となっています。

こうした面からも、登校時以外でのヘルメットの着用も含め、交通ルールやマナーについて学校で話し合う場をもち、「自分の身は自分で守る」ということを再認識してほしいと思います。

次に、竹本さんの「伝統芸能招致について」ですが、「歌舞伎」に触れ、学習していくうちに、深く興味を持ち、楽しくなったという体験を聞き、その取組の過程が素晴らしいと感じました。

中条中学校のみなさんは、お琴の演奏をはじめ、「中条樽踊り」への参加や熊谷歌舞伎会指導のもと「白波5人男」の歌舞伎発表など、伝統芸能への取組を大切にしていると聞いています。

市では、中学2年生を対象に、国宝である聖天堂歓喜院の見学を行っていますが、来年度は、市民協働「熊谷の力」事業の中で、小中学生に参加を呼びかけ本市の重

要文化財である平山家で熊谷歌舞伎を披露する予定です。

これからも、我が国の伝統芸能に積極的に触れるとともに、地域で受け継がれている郷土芸能を守り、日本文化を理解し、郷土愛にあふれる大人になってほしいと願っています。11月23日には市内各地域で継承されている伝統芸能を紹介する「第7回地域伝統芸能今昔物語」と題した発表会を、大里地域にある「あすねっと」で開催します。みなさんもぜひ見に行ってください。

次に、吉野さんの「小・中学校への太陽光発電パネルの設置について」ですが、吉野さんの言うとおり、持っている土地を有効利用するという考えから、熊谷市ではメガソーラーによる発電事業に取り組む民間会社に妻沼地域にある一般廃棄物最終処分場などの土地を貸し出しています。これで一般の住宅約2,000軒分に相当する電力が発電されるようです。

さらに、学校など市の施設の屋根や屋上を貸し出す事業にも取り組んでいます。

また、体育館の改築に合わせ、屋根に太陽光発電パネルを設置しています。吉野さんが通う中条中学校にも設置してあります。

これからも、これらの事業を進めていきたいと考えています。

次に、大岡さんの「急激な天候の変化による小中学校の対策について」ですが、昨年は台風18号に伴う竜巻や大雪などこれまでに経験したことのない自然災害にみまわれました。

こうした被害を最小限に食い止め、みなさんの大切な命と財産を守るために、気象台をはじめ、専門の機関と連携するなど、より正確な情報収集、的確な初動体制がとれるよう対策を取っています。

しかしながら、突発的に起こる予知しがたい自然災害には、一人一人の瞬時の判断がとても大事です。

日頃から災害時の安全の確保に備え、「自分の命は自分で守る」という大原則を忘れず、冷静な行動ができるよう、そして、災害時に地域の一員として、熊谷市民の「要」となって、行動できるようになってほしいと願っています。

議席番号11 大麻生中学校 長谷部 俊 議員
自転車による交通事故への対策について(教育長)

長谷部 俊議員さんの「自転車による交通事故への対策について」にお答えします。

「自転車乗車時のヘルメットの着用」については、議員さんのおっしゃるとおり、万が一の事故の際に命を守るためには、保護具であるヘルメットの着用は安全対策面で有効なものと考えます。

そこで、熊谷市では、登下校時に自転車の通学を許可している中学校 12 校すべてで、自転車通学許可者にヘルメットの着用を義務づけています。

しかし、登下校以外でのヘルメットの着用については、学校で着用するよう指導していますが、100%になっていないのが現状です。こうした面からも、大麻生中のように自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用するよう学校はもとより保護者や市のPTA連合会の皆さんにも働きかけていきます。

議員の皆さんも、自分の命は自分で守るいわゆる「自助」を胸に刻み交通ルールをしっかり守り、模範となる自転車運転をお願いします。

議席番号13 中条中学校 竹本 幹太 議員
伝統芸能招致について(教育長)

竹本 幹太議員さんの「伝統芸能の招致について」にお答えします。

はじめに、中条中学校の皆さんが、日頃から、「中条樽踊り」や箏の演奏、歌舞伎鑑賞など、伝統芸能に熱心に向き合い、取り組まれていることに対して、私も大変うれしく思います。

現在熊谷市には、1,000 席のホールを備えた熊谷文化創造館「さくらめいと」のほか、大里生涯学習センター「あすねっと」、江南総合文化会館「ピピア」などにもホールがあります。こうした施設では、毎年、音楽や演劇、伝統芸能など、様々な分野の催物をバランス良く計画し、実施しています。このうち、伝統芸能については、施設の規模に応じて、歌舞伎や能、狂言、文楽、落語といったジャンルに偏りがないように計画しています。

これまでも、能や狂言では「ワークショップ」といって、実際に衣装を着けたり、舞や囃子などを体験する企画をともなった公演のほか、先月には、文楽の公演で、事前に人形遣いの仕組みや謡、文楽の鑑賞のポイントを出演者が解説するなど、鑑賞とともに体験もできる機会を提供してきました。

なお、来年 1 月には、江南総合文化会館「ピピア」において、解説付きの「歌舞伎フォーラム公演」も予定されています。改めてご案内をいたしますので、歌舞伎にさらに親しむ機会として、気軽に足を運んでください。

そして、こうした鑑賞の機会を、各学校の行事として活用されるよう望んでいます。

議席番号14 中条中学校 吉野 颯希 議員

太陽光発電パネルの設置について(教育長)

吉野 颯希議員さんの「太陽光発電パネルの設置について」にお答えします。

吉野さんの通っている中条中学校もそうですが、体育館を建替える際、その建築工事に併せて、屋根に太陽光発電パネルを設置し、皆さんの環境教育に役立てるとともに、学校の電力の一部を補っています。これまで、15 校の学校に太陽光発電パネルを設置し、今年も、新たに 3 校で設置工事を実施していますが、これから、建替えを予定している体育館の屋根にも整備していく考えています。

また、校舎等の屋上については、屋根貸し事業といって、有料で屋根等を民間会社に貸して、その会社が太陽光パネルを設置し、発電した電気を売るとともに、災害などによる停電の時には、優先的に学校でその電気を使える事業に取り組んでいます。屋根の形状や構造上の問題などがあるため、成田小学校と江南中学校の 2 校のみで実施しています。

それから、プールに太陽光パネルをという提案は、費用や構造上の課題がありますが、熱中症予防と発電の一石二鳥で面白い考えだと思いますので、その発想は、参考にさせていただきます。

議席番号29 妻沼西中学校 大岡 遥人 議員

急激な天候の変化による小中学校の対策について(教育長)

大岡 遥人議員さんの「急激な天候の変化による小中学校の対策について」にお答えします。

ここ数年、地震、竜巻、大雪など予測しがたい自然現象が発生しており、災害は、いつどこで発生するかわかりません。

現在熊谷市では、熊谷地方気象台と連携をとり、気象庁から出される気象情報等をもとに、各学校へ注意喚起を行っています。また、熊谷市の地震、竜巻、大雪対策ガイドラインをもとに、各学校では、それぞれの事情に合わせた独自のガイドラインを作成し対応をしています。

これからの対策についてですが、今年 8 月、小学校 23 校の屋上に小型気象計を設置しました。これにより、各中学校でも、インターネットを活用し、リアルタイムで近隣の小学校の観測データを見られ、これまで以上に局地的な気象現象を早期にキャッチすることができるようになりました。

こうしたことを活用し、災害情報をいち早く学校に伝え、校舎内の安全な場所に待機する等、これからも安全対策をとっていきます。

大岡さんをはじめみなさんも自分の命を守ることとはもとより、お年寄りや救護が必要な方の命を守る、いわゆる「共助」の力をぜひ身に付けてほしいと思います。

5、ジュニア議員の感想

～ジュニア議会を終えて～

1. ワークショップについて

- ・ 本番に向けての雰囲気などもワークショップで味わえて、用意周到にやれたと思いました。
- ・ ワークショップを通して、お互いを知ることで質問する人がどういう人物像なのか理解しながら聞けたのでよかったです。
- ・ 夏休みに 2 回だけでなく、もっとワークショップを実施してほしいです。
- ・ ワークショップでの意見交換を通じ、友達の意見を聞いた時にこんな考えもあったのかと感ずることができました。
- ・ ワークショップで、他校の人と顔見知りになり、本番を落ち着いてできました。
- ・ わずかな時間の中で沢山のことを決められたのは、忙しい中学生という立場ではありがたかったです。
- ・ 2 回目のワークショップで、議場を見学させてもらいよかったです。
- ・ 男子の大半が野球部なので、練習試合などで会った時に話しかけられたりし、顔見知りができ、本番であまり悩まずにできたのでよかったです。
- ・ 本番の休憩時間にワークショップでできた友達と話せ、緊張を和らげることができました。
- ・ グループにおもしろい人がいたのでみんなで盛り上がっていて楽しかったです。
- ・ ワークショップで熊谷市の取り組みをなども知れ、とても良い経験になりました。

2. ジュニア議会を体験して

- ・ 中学生でも1人1人自分の意見を持って、発表できたことが少し自身につながりました。
- ・ 市長の前で自分の意見を堂々と発表できた事が私にとってすごくプラスになりました。
- ・ 学校の代表でジュニア議会に出ることができたことを誇りに思います。
- ・ この議会をきっかけに、あまり興味がなかった政治についても少し関心を向けてみようと思いました。

- ・ 議会を通して、改めて熊谷市について見つめなおすことができ、本当に良い経験になりました。
- ・ 人前に立つことが苦手でしたが、この議会に参加し、友達から「人前に立つことになれてるじゃん」と言われてうれしかったです。
- ・ 全員の質問に丁寧に答えていただいたので、32 個も新しく熊谷のことが知れました。よかったです。
- ・ 福祉など自分の生活に身近な質問が多く、とても良い議会になったと感じました。
- ・ この議会を通じて、自分に足りないものや他校の良さなどを知れてよかったです。
- ・ 皆が違う意見を持っていることを改めて感じました。みんなが熊谷市を良くする為に考えていて、皆熊谷を大事にしているのだと感じました。
- ・ 議長を自分達で決めさせてほしいと思いました。
- ・ 他の議員の質問を聞き、「ここはこういうことじゃないかな？」など、新たな疑問や意見がたくさん浮かんできました。
- ・ 立派な議事堂で意見を述べる経験ができ、とてもよかったです。
- ・ 普段テレビで見るような議会を体験することができ、とてもうれしかったです。質問の時には、手が震えるほど緊張しましたが、とても貴重な経験ができました。
- ・ 将来の自分のためにも活かしながら生活していこうと思いました。
- ・ 今回のジュニア議会で、出た案が全て実現してほしいと思いました。
- ・ とても緊張して、頭が真っ白になりましたが、「これは、選ばれたものしか味わうことのできないもの」と考え、緊張感を楽しむことができました。そんな自分がいたことに驚きました。
- ・ 議員席に座り、選挙の重要性を感じました。熊谷市の未来は議会により決められるので、選挙にはしっかり行かないと行けないと思いました。
- ・ 議会を経験したら、将来このような事に関係する道に進んでみようと思いました。

6、参考資料(ジュニア議員座席表)

広報広聴課長 広報広聴課		議会事務局									
産業振興 部長	環境部長	福祉部長	危機管理監	議長		議会事務局 副局長	選挙管理 委員会 事務局長	監査委員 事務局長	農業委員会 事務局長		
	総務部長	総合政策 部長	市長公室長			消防長	水道部長	契約室長	会計管理者		
	副市長	市長	市長	演壇		教育長	教育次長	都市整備 部長	建設部長		
8 いけうち ひなこ 池内 日向子 (熊谷東中)	7 うめざわ つねよし 梅澤 恒喜 (熊谷東中)	6 あべ のぞみ 安部 希望 (大原中)	5 たかはし ゆうや 高橋 佑弥 (大原中)			4 あなみ みほ 阿南 美穂 (富士見中)	3 おおさわ こう 大澤 孔 (富士見中)	2 おおはら りよ 大原 理世 (荒川中)	1 たにだ かずき 谷田 和基 (荒川中)		
20 くらた こゆき 倉田 こゆき (三尻中)	19 まつむら たかみつ 松村 峻充 (三尻中)	18 ふくしま あいな 福島 愛奈 (別府中)	17 かたせり まさと 片桐 真人 (別府中)	16 さだかた ゆめ 定方 優芽 (吉岡中)	15 なりた しゅうと 成田 州都 (吉岡中)	14 よしの さつき 吉野 颯希 (中条中)	13 たけもと かんた 竹本 幹太 (中条中)	12 たかはし かおり 高橋 花織 (大麻生中)	11 はせべ しゅうん 長谷部 俊 (大麻生中)	10 あきやま ひなた 秋山 比奈珠 (玉井中)	9 いずみた りょう 泉田 瞭 (玉井中)
32 つねよし なつみ 恒吉 夏実 (江南中)	31 いいだ りょう 飯田 龍 (江南中)	30 おおつか あやな 大塚 彩奈 (妻沼西中)	29 おおおか はると 大岡 遥人 (妻沼西中)	28 まえはら なな 前原 南名 (妻沼東中)	27 なかはら だいき 中原 大樹 (妻沼東中)	26 こいけ りな 小池 里奈 (大里中)	25 かただ しゅうたろう 堅田 龍太郎 (大里中)	24 むらかみ ありさ 村上 安里彩 (大幡中)	23 しづい ちしゅうた しづい ちしゅうた (大幡中)	22 こみや めぐな 小宮 恵奈 (奈良中)	21 こまき けんた 小杉 健太 (奈良中)
ミキサー室		傍聴席									

7、参考資料(答弁のための出席者)

市長	富岡 清
副市長	嶋野 正史
市長公室長	安西 俊之
危機管理監	吉野 一明
総合政策部長	小泉 照雄
総務部長	関口 和佳
市民部長	稲村 光
福祉部長	小林 卓敏
環境部長	塚越 晴夫
産業振興部長	建川 崇嗣
都市整備部長	長谷川 泉
建設部長	田所 隆雄
消防長	木村 和行
水道部長	鯨井 勝
契約室長	野中 詔子
会計管理者	飯塚 靖
教育長	野原 晃
教育次長	米澤 ひろみ
選挙管理委員会事務局長	黒澤 幸十郎
監査委員事務局長	斉木 千春
農業委員会事務局長	小暮 昭雄
議会事務局長	小林 常男





市の花さくら、市の木けやき、市の鳥ひばり、市の魚ムサシトミヨ

第9回 夢・未来熊谷ジュニア議会 会議録

発行 熊谷市総合政策部広報広聴課

〒360-8601 熊谷市宮町 2-47-1

TEL: 048-524-1111(代表)